



濱三郡地方饗饌の御菓子謹製方を命ぜられた

光榮の松月堂菓子舖

御大典饗饌第一たる十六可きだ、氏の放漫なる行爲日、地方饗饌として本縣はこれ程本縣饗饌界に大波三郡八百一名に對して十六枚を請いたか、我等は公正日磐城中学校に於て賜はるなる可直の裁きを見よう。學になりそれが調理方を平町谷口、往吉原本店、尼子の三料亭に命ぜられ御菓子全部の調製方を松月堂菓子重次氏に命ぜられたといふいづれも光榮の極みといふべきである。

酒井氏の光榮

平町醫師酒井三郎氏は本縣醫師會副會長として大禮使の特許を得て四日出發七日御苑拜觀九日歸平された。

桐谷家の寄金

平町胡麻澤桐谷家では今回平禁酒會に金貳拾圓を會事業資金の一助として寄金せりと。

紙上漫談

日光生

△吉野氏の悪氣流

本縣の大御所とも言はれた吉野王國哉の日は来た。二三日前の新聞には某博士の辯論大要が出て居る。吾人を呆然たらしめた程の手形のらん發をせる氏の悪氣流に會つたのだと云ふ、さすれば不可抗的の悪氣流なればと氏の行爲を是認するに等しい、何ぞ爾らん財界の好氣流も悪氣流たらしめたのは氏ではなかつたか。其處に置かなければ盗まぬものをなど見賊に等しい辯解は誰も信する者はあるまい、新聞紙も亦此れに謳歌する如く書き立てるは如何に社會を毒するかと知る

店員慰安會

余興の數々

一面記載の外十四日店員慰安會の余興は根本毅一氏の落語の外内定せるもの左の如し

飛入大歡迎  
一、三曲合奏  
二、琵琶  
三、其他店員の隱微披露

起した時、獨り卓然として正義を持つて一歩も退かず地方民の味方として雄々しく筆劔を揮つて呉れた我々平新報こそは我等の進むべき所を示す指導標なのだ。今亦平町に於ける店員表彰の計畫あるを聞き誠に當りて讚意を表するものであり、忠實なる彼等の奮闘も店員なればこそ何等の酬報もなるところなかつたのだ。善哉々々、平新報!! 愈勇を鼓して利權屋に屈する事なく、一層強く、新しく地方思想界に突進せられよ。

光線科

平町南町 電話二一九番

内科小兒科皮膚科

藤田醫院

平町南町 電話五〇七番

高久病院

平町田町 電話五二三番

松竹會館

電話五五五番

片岡醫院

片岡鎌三郎 湯木町驛前

植田町

植田町 湯木町驛前

片岡醫院

院長藤田醫學士 片岡 章 電話一〇七番

奉祝御大典

トタン銅鐵業ペンキ工事請負業

田中宣治

平町新川町 電話五六七番

表彰式へ御出席の諸彦に謹告

勤続店員代表表彰式に御來場の方は場内整理の都合有之前以つて配れる案内狀を成る可く御持参受付迄差し出され度又時間勵行入場の事。

平新報社

理化學研究所製

吸入用酸素・酸素吸入器

優良ナル理研ノ酸素ノ御用意ナ

平町四丁目

關内藥舖

藥劑師 關内榮助 電話四〇番

不思議な滋強靈液

まむしのエキス

本酒を用ひて適切に靈能の分る人々も命酒は酒にして酒に非ず藥用として御婦人に用ひ易し強力なる發養素は惡疾を豫防し萬病を擊退する眞に健康の好伴侶なり榮養を貴ぶ人は勿論殊に

結核素質者○胃腸病○神經衰弱○精力減退○貧血○不眠症○病後衰弱○婦人病○ホステリ○氣喘○又他慢性諸病に罹り健康者朝夕の一杯元氣旺盛○其慢性諸病に罹り健康者朝夕の一杯元氣旺盛を御試み一試み其眞價を知り即愛飲あらん事を御勧めいたします

大瓶 五八〇五入 金貳圓  
中瓶 四〇〇五入 金壹圓五拾錢  
四季の調進物用又は病家の御見舞品として最も好適で御座います

平町五丁目

代理店 山野邊藥局

藥劑師 山野邊東次郎

冬の學生服特賣

飛鷹様に賣れる

なかやの學生服

長ズボン付上下  
二號 八九歳向 二圓二十錢  
三號 九十歳向 二圓四十錢  
四號 十一歳向 二圓六十錢  
五號 十三歳向 二圓八十錢

其他の各種洋山取揃つて居ります  
尚中學服も揃つて居ります

平町二丁目

なかや洋服店

電話二〇三番

磐城セント代理店

西村屋藥舖

平町二丁目 電話三三番

天高く馬肥ゆるの秋

一般事務用文具 騰寫版一式

特別奉仕御用命を

平町二丁目

清水屋書店

電話一三一番

清水屋書店

電話一三一番